



《関西全体の航空需要拡大について考えるセミナー》

日本初の本格的LCCが画く関空を拠点とした経営戦略

2012年9月24日

Peach Aviation株式会社

I. LCCとは何か？

- 日本を取り巻くLCC情勢
- LCC拡大の歴史
- 数値から見るLCC
(品質/旅客数/供給シェア)

II. Peach Aviation事業概要

- これまでの歩み
- 出資者/出資比率/出資総額
- 会社の特徴
- 関西国際空港発着メリット
- 機材数及び就航路線
- 経営ビジョン
(経営理念/ビジョン/ミッション)
- ミッション1:安全なフライト
- ミッション2:低価格運賃
- ミッション3:ジャパंकオリティ

III. これまでの実績と今後の動き

- 就航後の状況
- LCCターミナルの運用開始

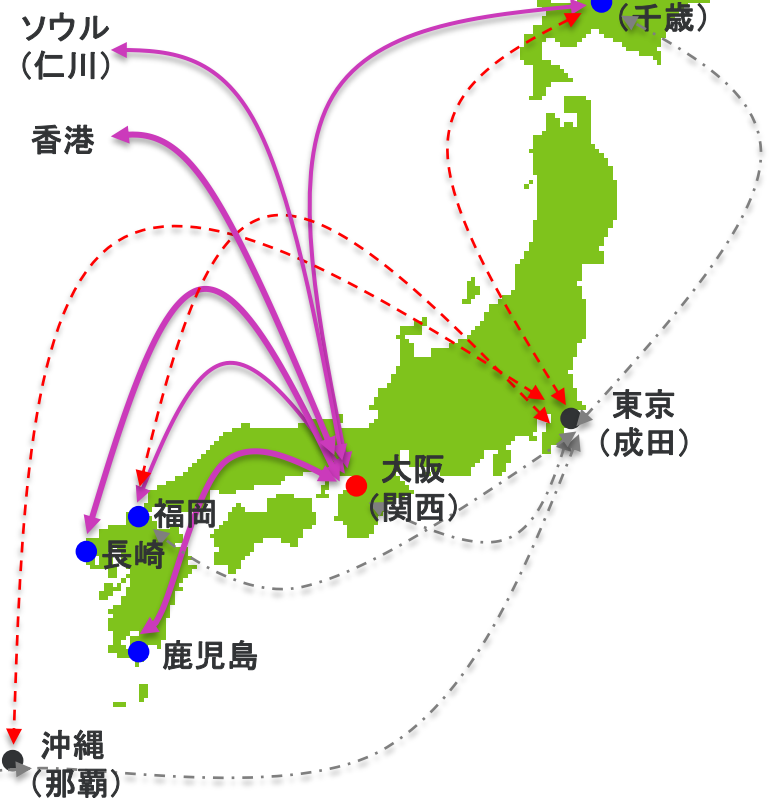


I. LCCとは何か？

✈ 日本を取り巻くLCC情勢

➤ 2012年は日系LCC3社が相次いで就航し、日本における「LCC元年」と言われている。

- ↔ ピーチエアビエーション
- ↔ エアアジア ジャパン
- ↔ ジェットスター ジャパン



peach
2012年3月1日
就航

ベース	就航先	運航頻度
大阪(関西)	札幌(千歳)	4往復/日
	福岡	3往復/日
	長崎	2往復/日
	鹿児島	2往復/日
	ソウル(仁川)	3往復/日
	香港	1往復/日

AirAsia
2012年8月1日
就航

ベース	就航先	運航頻度
東京(成田)	札幌(千歳)	3往復/日
	福岡	2往復/日
	沖縄(那覇)	1往復/日

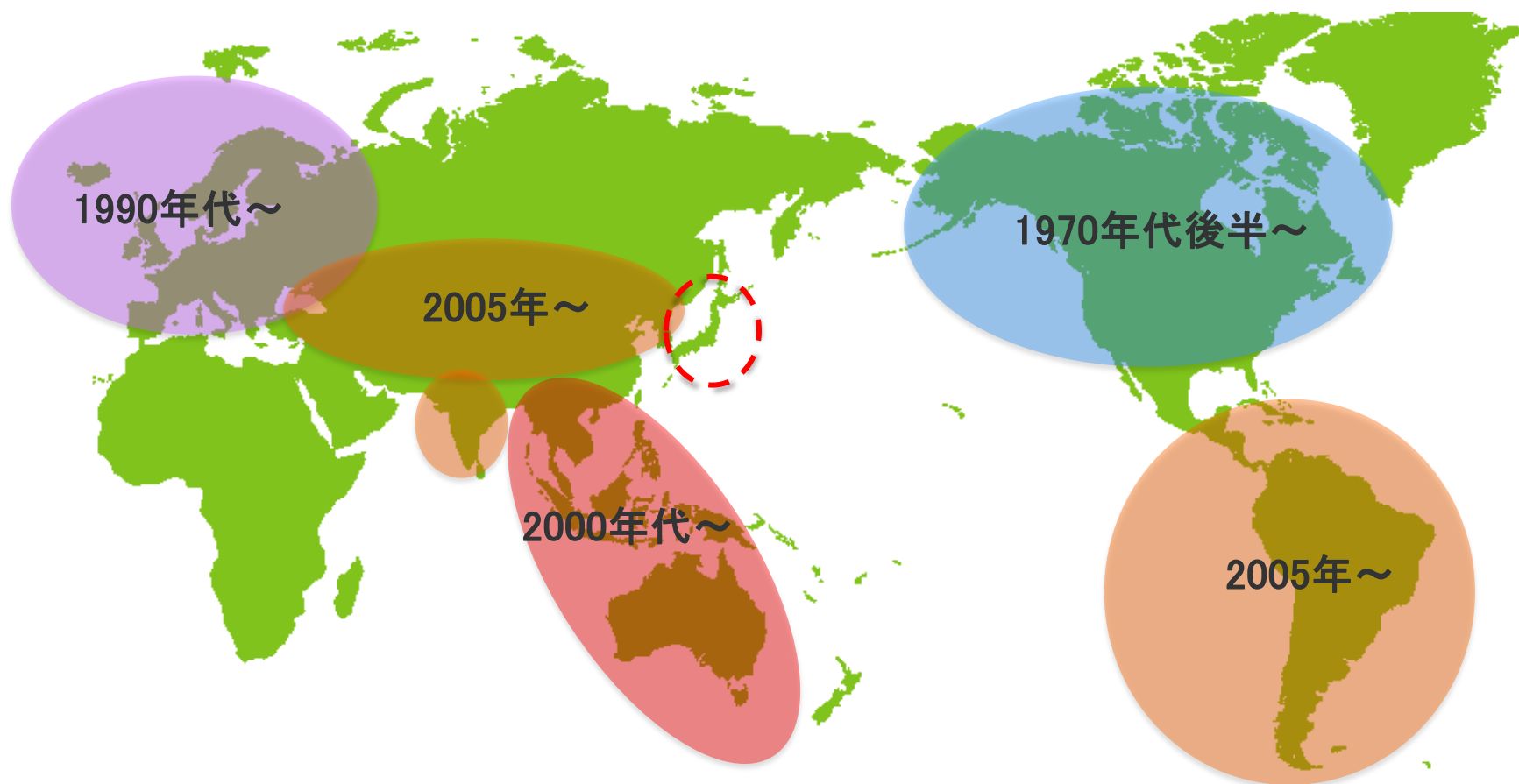
Jetstar
2012年7月3日
就航

ベース	就航先	運航頻度
東京(成田)	札幌(千歳)	3往復/日
	福岡	2往復/日
	沖縄(那覇)	2往復/日
	大阪(関西)	1往復/日

※就航地/運航スケジュールは2012年8月20日時点のもの。

✈ LCC拡大の歴史

- 航空自由化を背景にLCC (Low Cost Carrier)が出現。
- 世界の航空自由化の流れに乗ってアメリカ⇒ヨーロッパ⇒東南アジア/オセアニア⇒南米/中東/アジア⇒中国/韓国に拡大。



品質

- 品質面でもレガシーキャリアに負けないレベルを維持。
※「安い」+「良い」=「LCC」 「安い」=「悪い」という構図は過去のもの

航空会社名	定時出発率	手荷物事故発生率	就航率
Ryan air	90%	0.6	99.6%
Lufthansa	85%	10.9	98.4%
Air France/KLM	83%	18.9	96.6%
British Airways	83%	15.6	97.9%

出典 : AEA(Association of European Airlines) Statistics Nov08-Mar09

旅客数

- 国際線/国内線共にLCCがレガシーキャリアを抑えて1位になっている。
- 特に国際線では圧倒的な旅客数を誇る。(2位Lufthansaとは大差あり)
- 総合実績においても2位と5位を占め、存在感を出している。

国際線搭乗旅客数実績

	航空会社	旅客数
1	Ryanair	71,229
2	Lufthansa	44,460
3	easyJet	37,665
4	Air France	30,882
5	Emirates	30,848
6	British Airways	26,320
7	KLM	22,787
8	Delta Air Lines	21,029
9	American Airlines	20,356
10	Cathey Pacific Airways	19,723

国内線搭乗旅客数実績

	航空会社	旅客数
1	Southwest Airlines	106,228
2	Delta Air Lines	90,130
3	China Southern Airlines	71,158
4	American Airlines	65,773
5	US Airways	45,530
6	United Airlines	44,390
7	China Eastern Airlines	42,754
8	Air China	39,846
9	All Nippon Airways	38,907
10	Qantas Airways	31,288

国内/国際線合計搭乗旅客数実績

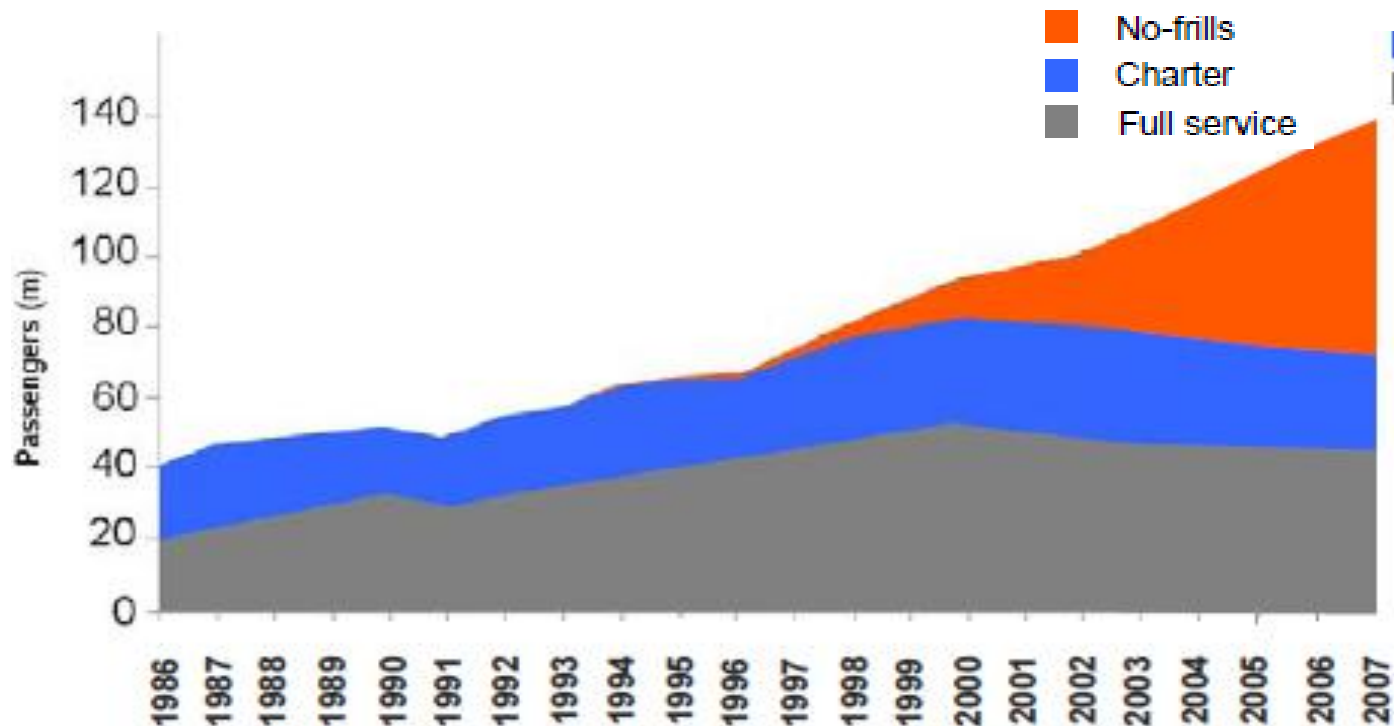
	航空会社	旅客数
1	Delta Air Lines	111,159
2	Southwest Airlines	106,228
3	American Airlines	86,129
4	China Southern Airlines	76,078
5	Ryanair	71,229
6	Lufthansa	56,693
7	United Airlines	54,015
8	US Airways	51,814
9	China eastern Airlines	50,336
10	Cathey Pacific Airways	47,029

※IATA WATS 55th Editionより

供給シェア

- 欧州では全提供座席数に占めるLCCの割合が高い。(Ryanair, easyJet, Air Berlin)
- LCCは既存キャリアからの顧客流動ではなく、新規顧客開拓を通じて航空市場全体の規模を拡大することに貢献している。

<英国-EU間におけるエアライン・タイプ別の旅客数の変遷>



出典: CAA (英国航空局) 統計



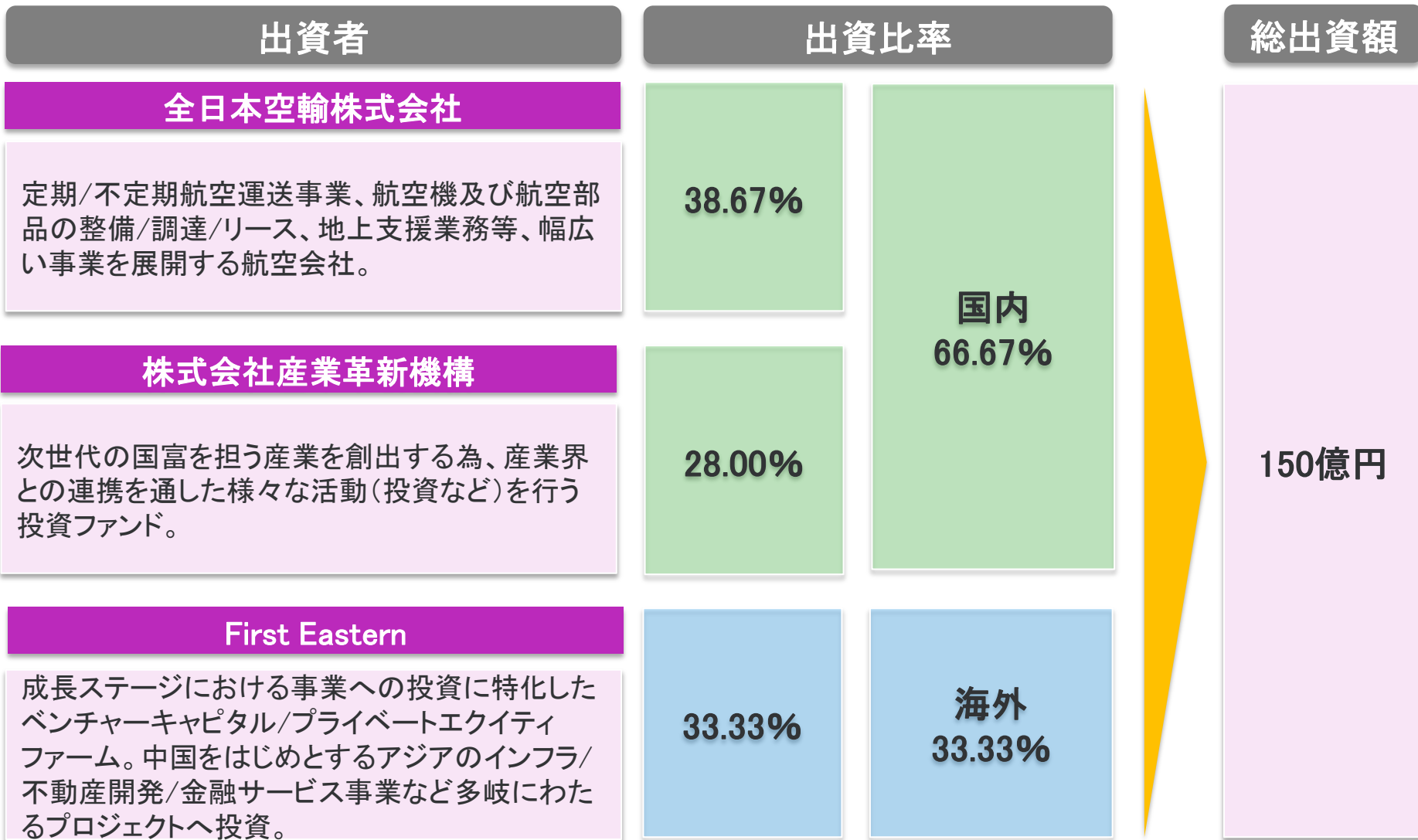
II. Peach Aviation事業概要

✈ これまでの歩み

- LCC構想から約4年、具体的な準備を開始して約2年というスピードで就航を実現。
- 就航後もこれまでのエアラインでは考えられないスピードで事業を拡大。

年月日	内容
2008年1月16日	ANA内にアジア戦略室設立
2010年12月1日	ANA内にLCC共同事業準備室設立
2011年2月10日	A&F Aviation株式会社設立
2011年4月13日	航空運送事業許可申請
2011年5月24日	新ブランド「Peach」発表、社名および本店所在地変更
2011年7月7日	航空運送事業許可受領
2011年11月4日	初号機受領
2011年12月15日	航空運賃発表 ※12月27日に発売開始
2012年3月1日	大阪(関西)ー福岡線就航開始 <4便/1日> 大阪(関西)ー札幌(千歳)線就航開始 <3便/1日>
2012年3月25日	大阪(関西)ー長崎線就航開始 <2便/1日>
2012年4月1日	大阪(関西)ー鹿児島線就航開始 <2便/1日>
2012年5月8日	大阪(関西)ーソウル(仁川)線就航 <1便/1日> ※6月23日より3便/1日運航開始
2012年7月1日	大阪(関西)ー香港線就航開始 <1便/1日>

✈ 出資者/出資比率/出資総額



1. 日本初の本格的LCC

- LCCビジネスモデルをプラットフォームにした新しい航空ビジネスモデル。
- 圧倒的低価格による新規/潜在需要創出による航空総需要拡大を実現
※国際線への重点展開(アジアの成長の取り込み)
- 先進テクノロジーの積極導入による「安全」且つ「低コストオペレーション」の具現化。

2. 日本初の関西をベースとしたアジアのリージョナルエアライン

- 国内外から関西へ多くの人を呼び込み、経済活性化に貢献。

3. 独自の経営モデル

- 多様な業界/国籍からの人材採用による航空業界の規定概念に捉われないイノベティブな企業文化の形成。
- フルサービスキャリアであるANAから独立した経営の維持。

4. 新しいサービスモデル

		Peach	レガシーキャリア
予約 購入	購入窓口	Web/コールセンター(有料)	Web/コールセンター(無料/有料)
	予約	予約後即決済が必要	一定期限予約保留可能
	座席指定	有料 ※座席指定料をお支払頂かない場合、座席は当日自動的に決定	無料
	払戻し	無し	有り(券種による)
空港	搭乗手続き	無人チェックイン機	有人カウンター/無人チェックイン機
	受託手荷物	有料(1個目より)	無料(一部有料)
	ラウンジサービス	ラウンジなし	対象者のみ無料で提供
	搭乗スタイル	関空は徒歩 就航地は搭乗橋or徒歩/バス	主に搭乗橋使用 場合によりバス使用

4. 新しいサービスモデル

		Peach	レガシーキャリア
機内	飲食物	有料	無料(一部有料サービス有り)
	エンターテイメント	無し	有り(機材による)
その他	欠航/遅延対応	自社便振替え 返金/ポイント付与	自社/他社便振替え 返金
	クラス別サービス	無し(単一クラス)	有り
	マイレージサービス	無し	有り
	運賃形態	運賃はシンプルに2種類のみ ※空席連動型運賃システム	様々な運賃形態有り

✈ 関西国際空港発着のメリット

1. 地理的優位性

- 東京に比べてアジア各都市に1時間近く、就航都市の選択肢が広がる。

2. 市場規模優位性

- 関西圏は関東圏に次ぐ人口(2,000万人)を有する巨大な市場である。

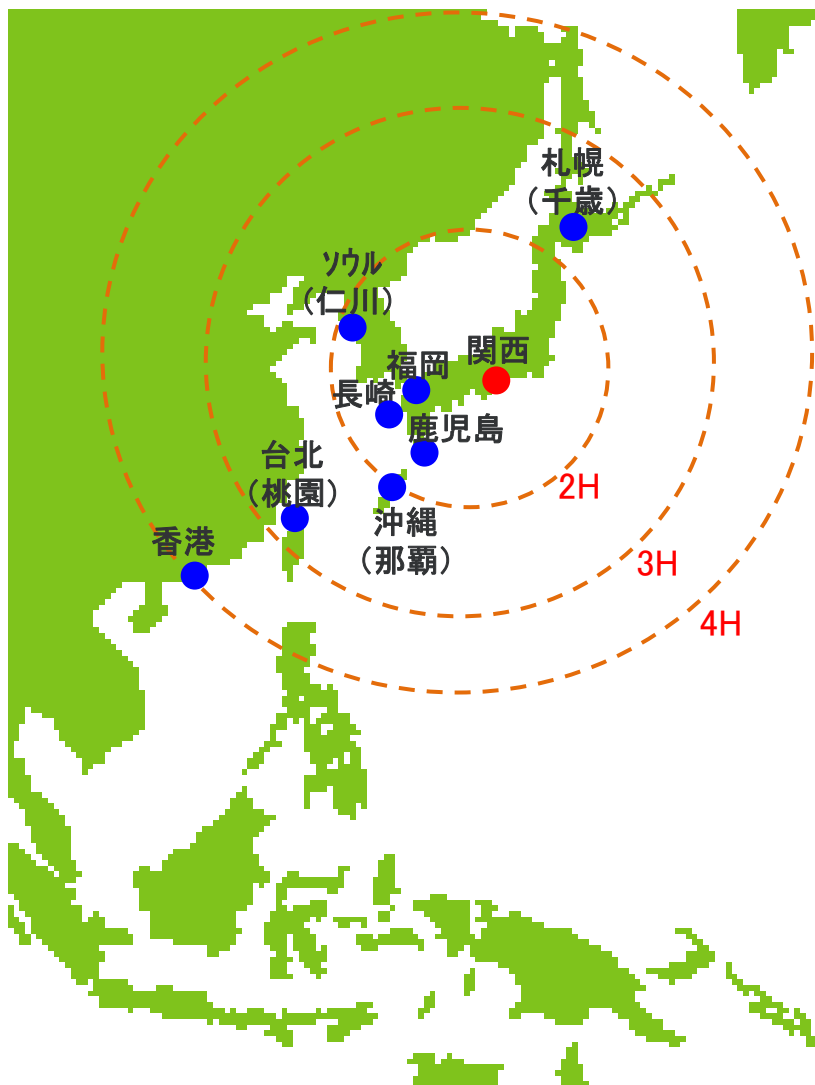
3. 空港施設優位性

- 24時間運用空港
- スロット制約が少ない → ダイヤ設定の自由度が高い。
- 国内/国際一体空港 → 事業計画上の自由度が高い
- 最大の課題だった高コスト → LCC専用施設の整備により低減が視野に。

4. 観光資源優位性

- 大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山、三重といった国内外の観光客に人気がある観光スポットが集中している。

✈ 機材数及び就航路線



機種/機材数

※2012年8月就航時は4機体制。
 ※2013年度上期末に10機体制。

機種	座席数	保有機数
A320-200	180席	10機

国内線

路線	就航開始	就航便数
関西 - 福岡	2012年3月1日	3便/日
関西 - 札幌(千歳)	2012年3月1日	4便/日
関西 - 長崎	2012年3月25日	2便/日
関西 - 鹿児島	2012年4月1日	2便/日
関西 - 沖縄(那覇)	2012年10月18日	2便/日

国際線

路線	就航開始	就航便数
関西 - ソウル(仁川)	2012年5月8日	21便/週
関西 - 香港	2012年7月1日	7便/週
関西 - 台北(桃園)	2012年10月16日	7便/週

保有機数の増加に伴い、国内/国際線の更なる
 路線展開を検討する。

経営理念

ヒト・モノ・コトの交流を深めるアジアの架け橋となり、
人間愛を育むエアラインとなる。

【私たちの夢】

より多くの人びとが気軽に様々な場所へ出かけられる。
そして、人びとがお互いを知り、文化を知り、考えを知ることで
感動が共有され、
理解が深まっていく。
交流・感動・理解により育まれる、国籍や文化を超えた人間愛。
その人間愛をアジア、更には世界へ広げたい。
それが私たちPeachの夢。
愛こそすべて。Love&Peach

ビジョン

1. Networking Asia

- ・日本とアジアをつなぐ充実した路線網の確立
- ・人的交流促進への貢献

2. The lowest cost airline in Japan

- ・世界レベルのユニットコストへの徹底的なこだわり
- ・メリハリのある投資、1円にこだわる費用対効果の見極めによる健全な財務体制の堅持

3. A great place to work

- ・Peachを取り巻く全ての人々とのHappyな関係構築

ミッション

【安全】 Safety

～航空会社としての約束～

航空会社にとって安全こそが全てに優先されるお客様との約束です。

【低価格運賃】 Low Fares

～LCCとしての約束～

LCCとして365日低価格な運賃を提供します。

【ジャパン・クオリティ】

～ジャパブランドとしての約束～

日本ならではのプロダクトとサービスを提供します。

1. 安全推進体制の構築

➤ 2011年7月7日 航空運送事業許可(AOC)取得後直ちに安全推進体制を構築。

安全推進委員会

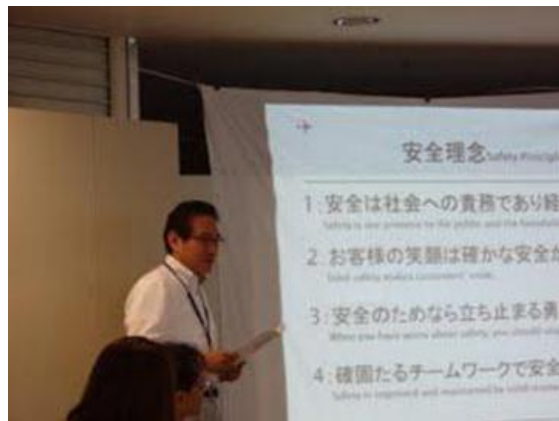
第1回:7月11日 「安全教育（安全管理規程について）」 《全員参加》

第2回:8月22日 「安全管理体制、安全理念の設定について」

第3回:9月12日 「安全管理規程の設定について」

航空保安教育

第1回:8月22日 「航空保安教育(航空保安基礎知識)」 《全員参加》



2. 新造機の導入

- A320ファミリーは全世界で6,000機の受注があり、優れた快適性/経済性/信頼性からレガシーキャリア/LCC問わず世界約200社に約3,400機が引き渡されているベストセラー旅客機である。
- A320新造機をリース導入して一定期間で更新することにより、機齢を若く維持する。

3. ANAによる安全運航に対する業務支援

- 完全に独立した経営を維持しつつも、公共交通機関の最大の使命である「安全」に関しては、ANAが数十年にわたって蓄積した技術/ノウハウを有償で提供頂く。

✈ ミッション 2: 低価格運賃

➤ 安全関連以外のコスト削減と各種収入向上施策による低運賃の実現。

新たな仕組みの導入

新たな仕組みによる圧倒的低コスト構造構築により、

- ・新規潜在需要の開拓
- ・他交通モード(鉄道/バス)との競争を可能にし、利用者に新たな選択肢提供

提供役務の分解 & 有償オプション化

Ancillary収入

※必要/希望に応じた有償提供

+

徹底的なSimplicityの追求

Safety以外の聖域なし

※高密度機材の高稼働/従業員高生産性等

✈ ミッション2: 低価格運賃

- ピーチは年間を通じて低価格を安定的にご提供することを目指している。
- ピーチの運賃は他航空会社や他交通手段の運賃と比べても競争力がある。
- 最安運賃もさることながら、最高運賃でも航空機や新幹線の最安運賃と同レベル。

関西圏⇄福岡

*運賃は2012年10月18日に搭乗すると仮定し、2012年9月18日時点で各社ウェブサイトで検索したものの。

*運賃は片道金額を表示。

*介護/身体障がい者/その他特殊割引運賃は除く。

交通手段	運賃	所要時間	備考
航空機(フルサービス)	9,800 – 21,900円	1時間15分	各種割引運賃～普通運賃
新幹線	12,880 – 14,690円	2時間30分	各種割引運賃～普通運賃
バス	4,000 – 10,000円	10時間	バス会社により運賃に大きな差あり



交通手段	運賃	所要時間	備考
航空機(ピーチ)	3,590 – 5,490円	1時間15分	航空運賃のみ

✈ ミッション2: 低価格運賃

関西圏⇄新千歳

*運賃は2012年10月18日に搭乗すると仮定し、2012年9月18日時点で各社ウェブサイトで検索したものの。

*運賃は片道金額を表示。

*介護/身体障がい者/その他特殊割引運賃は除く。

交通手段	運賃	所要時間	備考
航空機 (フルサービス)	15,500 – 42,300円	1時間50分	各種割引運賃～普通運賃
航空機 (フルサービス外)	7,800 – 12,000円		各種割引運賃～普通運賃



交通手段	運賃	所要時間	備考
航空機 (ピーチ)	5,290 – 7,590円	1時間50分	航空運賃のみ

✈ ミッション3: ジャパンクオリティ

Peachが考えるジャパンクオリティとは:

- ・最先端の**日本の美的センス「Cute & Cool」**

- 日本の最先端のカルチャー、ファッション、デザイン、ブランド
- 外国の方々からも高い評価を得た、グローバルに通用するコンセプト
- 日本がもつ「質」の高さへのこだわり



SHISEIDO

⇒機体デザイン/CA制服で表現

- ・日系エアラインとしての**信頼感**

- ・元気あふれる、日本らしい品のある**サービス**

- ・高い**クリーンネス**

- ・日本の**カルチャー**/関西の**ユーモア**

⇒関西弁によるアナウンスの実施

✈ ミッション3: ジャパンクオリティ

- 2011年11月に1号機を受領/2012年9月末に5号機を受領予定。
- 使用機材はA320型機で統一すると共に、全て新造機をリース導入。

機体デザイン



機内デザイン



客室乗務員制服



世界的なアパレルブランドのデザインを手がけた実績を持つ、ジェームス・ウィルキー (James Wilkie) 氏がデザイン。Peachの「Cute & Cool」のコンセプトのもと、カジュアルでありながらも、プロの客室乗務員としてのクオリティを持ち合わせたデザインに仕上がっています。



III. Peach Aviationの実績と今後の展望

1. 高い搭乗率

- 平均搭乗率は79%。
※お盆期間中(8/10~8/19)の平均搭乗率は国内94.3%、国際88.7%
- 搭乗者数は国内線で50万人、国際線は8.2万人を突破。年内に100万人。

2. 安定した運航状況

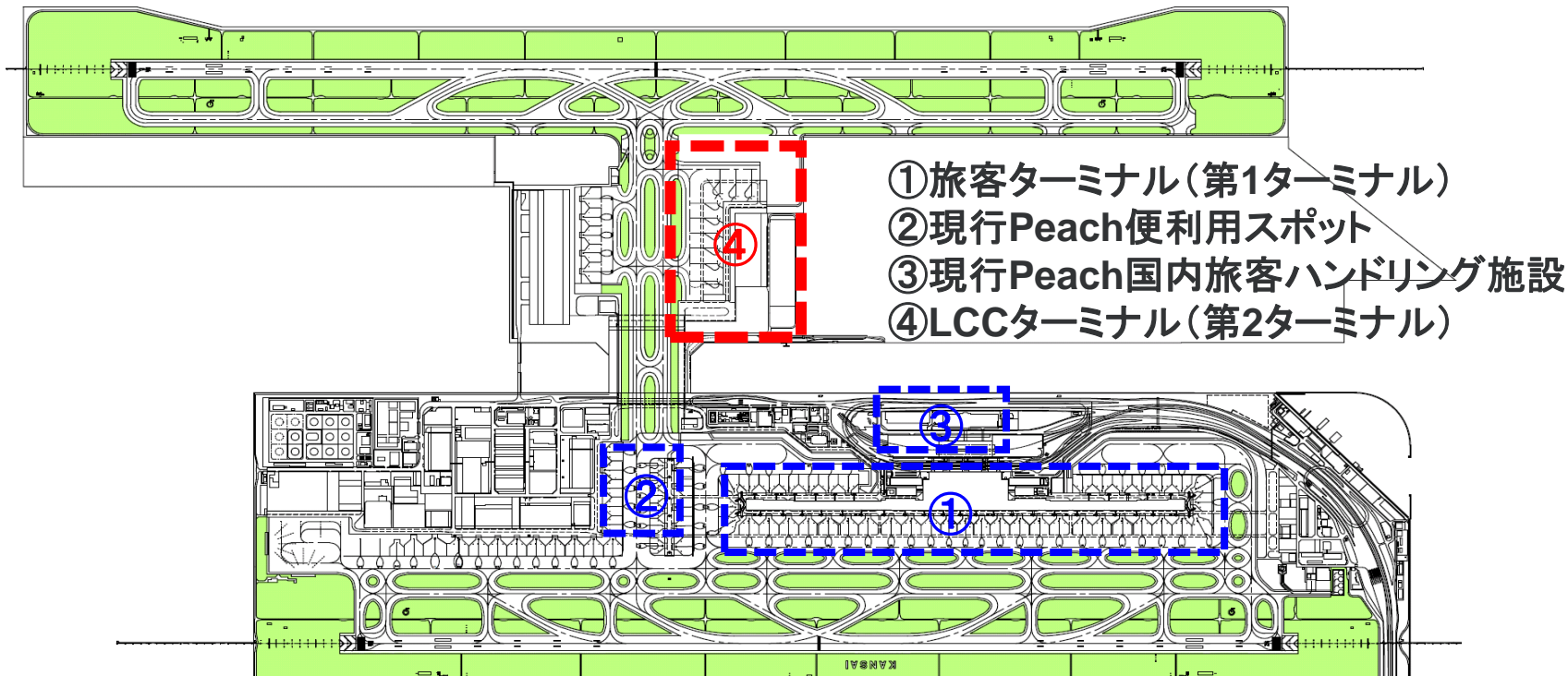
- 就航率は99%と既存航空会社に引けを取らない。
- 定時運航率は89%で高い定時性を維持。(出発における15分未満の遅延の数値)

3. 新たな需要創出

- ビジネス利用は少なく、観光/帰省/親族訪問利用が目立つ。
※若年層のグループ旅行や就職活動、熟年層の旅行や親族訪問が目立つ。
- 初めて航空機を利用する旅客も多く見受けられる。
- 利用者の男女比は50:50。年齢層は幅広い。

✈ LCC専用ターミナルの運用開始

- 2012年10月28日に待望のLCCターミナル(第2旅客ターミナル)が運用開始する。
- 2012年3月1日の就航からLCCターミナル運用開始までの間、エアロプラザ(旧高島屋)を国内線旅客用施設に改修して運航を実施。
- LCCターミナル運用開始により、国内外の乗り継ぎもスムーズになり旅客利便性向上。Peachとしても思い切った路線展開が可能になる。



✈ LCCターミナルの運用開始

➤ 2012年10月28日にLCCターミナル(第2ターミナルビル)供用開始予定。



✈️ LCCターミナルの運用開始

【国際線出発ロビー(イメージ)】



✈ LCCターミナルの運用開始

【国内線出発/到着ロビー(イメージ)】





ご清聴ありがとうございました。

